

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書 チェックリスト（研究機関用）

このチェックリストは実績報告書の入力等の誤りをなくし、修正等の事務手続きを軽減するため、その記載事項の主な確認点をまとめたものです（作成上の注意も併せてご確認ください）。

「交付申請書」、「交付決定通知書」、「収支簿」、「（各種）変更承認書」（該当がある場合のみ）等に基づき、個々の課題について実績報告書を作成した後、このチェックリストにより確認し、提出してください（チェックリストの提出は不要です）。

※研究を廃止等した場合は、チェックリストどおりとならない場合があります。

1. 全般的事項

チェック	チェックの観点	備考
	電子申請システムで作成した最終版となっているか。	・電子申請システムを使用して作成してください。 ・両面印刷されているかを確認してください。
	文字化けや誤字・脱字がないか。	電子申請システムは、JIS 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントに対応していません（入力画面上は正しく表示されても、書類を出力時に文字化けを起します）。
	正しい様式を使用しているか。	様式番号がF-6-2、F-7-2となっているか。

2. 収支決算報告書（様式F-6-2）

2～3頁を参照してください。

3. 研究実績報告書（様式F-7-2）

4～7頁を参照してください。なお、この様式の内容は、国立情報学研究所の科学研究費助成事業データベース（KAKEN）において広く公開することになります。プライバシー、個人情報について十分配慮し、公表して差し支えない内容か全般について確認してください。

電子申請システム上の最終版の版数と一致するか。
版数を手書き修正していないか。

1版

科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基礎研究(C)) 実績報告書 (収支決算報告書)

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

平成29年 5月31日

研究代表者の情報は、平成29年3月31日時点又は補助事業完了時点での情報が記載されているか。

所属研究機関の本部の所在地	〒000-0000 東京都〇〇区〇〇2-5-1
所属研究機関・部局・職名	〇〇大学・〇〇研究科・教授
フリガナ	〇〇 〇〇
氏名	〇〇 〇〇 <input type="checkbox"/> 署名または押印されているか。 印

署名または押印されているか。

研究課題名	〇〇の×に関する総合的研究	交付を受けた助成金	5,460,000 円
補助事業期間	平成25年度 ~ 平成28年度		

円単位で記載されており、収支簿等と齟齬がないか。
「最終年度の実支出額」については利息を含めない金額となっているか
主要な物品明細書に記載のした金額と齟齬がないか。

費目別収支決算表

	合計	直接経費					間接経費
		計	物品費	旅費	人件費	その他	
最終年度前年度までの実支出累計額 (A)	円 4,550,200	円 3,500,200	円 2,850,000	円 200,000	円 150,000	円 300,200	円 1,050,000
最終年度の実支出額 (B)	円 910,000	円 700,000	円 350,000	円 100,000	円 50,000	円 200,000	円 210,000
実支出額 (A+B)	円 5,460,200	円 4,200,200	円 3,200,000	円 300,000	円 200,000	円 500,200	円 1,260,000
交付申請書に記載の合計額	円 5,460,000	円 4,200,000	円 3,500,000	円 200,000	円 0		

補助事業者が所属する研究機関に実際に消費した額(実支出額)を記載しているか。

未使用額がある場合には、備考欄に自動で記載される未使用額が、研究機関で把握している未使用額と相違がないか。
 ※備考欄に表示される未使用額は返還額となる。
 ※ただし、最終年度前年度応募等で交付決定額の全額を受領していない場合には、備考欄に記載された未使用額から未受領額を差し引いた金額が実際の返還額となる。

平成29年3月31日時点での設置機関名が記載されているか

主要な物品明細書 (一品又は一組若しくは一式)

物品名	仕型・性能等	数量	単価 (円)	総額 (円)	設置研究機関名 (納入日)
●▲■×装置	(株) ●▲■ RV-SWR	1	500,000	500,000	〇〇大学 (H27.12.12)
※複数の科研費等により共用設備を購入した場合の例					
●▲■×装置 (共用)	(株) ●▲■ RV-SWR	1	31,500,000	31,500,000 (150,000)	〇〇大学 (H28.10.15)
※複数の科研費等により物品等を購入した場合の例					
			31,500,000	31,500,000	〇〇大学

一品又は一組若しくは一式の価格が50万円以上の物品(図書を含む。消耗品、備品の別を問わない)が全て記載されているか。
少額の図書を多量に購入した場合には、50万円程度を一括して、例えば「西洋中世政治史関係図書」のように、ある程度図書の内容が判別できるような表現を用いて記載しているか。

複数の科研費等により共用設備を購入した場合又は合算使用により物品等を購入した場合については、物品等の総額が50万円以上の場合に記載し、そのうち、直接経費により負担した額を()書きで記載してあるかどうか。
 (例:30万円(直接経費)+25万円(他の科研費)=55万円(総額)の場合には記載。)

課題番号	25234567	機関番号	12345
------	----------	------	-------

補助事業者			直接経費			間接経費の譲渡額	考
研究代表者及び研究分担者			交付申請書に記載の助成金額	実支出額			
所属研究機関・部局・職名	氏名	研究者番号	円	円	円		
〇〇大学・〇〇研究科・教授	〇〇 〇〇	10765432	3,450,000	3,450,200	1,035,000	(900,000) ☆☆大学 (735,000) 〇〇大学 変更：平成28年×月×日	
〇〇大学・〇〇学部・准教授	×× ××	20456789	250,000	250,000	150,000	□同一機関に所属する補助事業者の間接経費譲渡額は、1名にまとめて合算額を記載可。 □年度途中で所属研究機関を変更した場合は、同一機関の合算額には含まれない。	
〇〇大学・〇〇学部・助教	☆☆ ☆☆	20345678	250,000	250,000	0		
▲▲大学・▲▲学部・助教	▲▲ ▲▲	20876543	250,000	50,000	15,000	削除：平成29年×月×日	
□□大学・□□研究所・教授	□□ □□	30987654	0	200,000	60,000	追加：平成29年×月×日	
計（小計）	5名		4,200,000円	4,200,200円	1,260,000円		
			課題番号	25234567	機関番号	12345	

□補助事業期間の途中に所属機関を変更した場合は、備考欄に括弧書きでそれぞれの研究機関への譲渡額が記載されているか。

□補助事業期間全体を通じた間接経費の譲渡額(実支出額)となっているか。

□同一機関に所属する補助事業者の間接経費譲渡額は、1名にまとめて合算額を記載可。
□年度途中で所属研究機関を変更した場合は、同一機関の合算額には含まれない。

□研究代表者の情報は、平成29年3月31日又は補助事業完了時点での正しい情報で記載されているか。
□研究分担者の所属研究機関・部局・職名については、平成29年3月31日時点、補助事業完了時点、削除時点又は分担者としての役割を完了した時点のいずれか早い時点の情報で記載されているか。

□記載内容が、交付申請書に記載の情報と齟齬がないか。
□補助事業期間の途中で追加した研究分担者については、0と記載しているか。

□記載内容が、収支簿等と齟齬がないか。
□補助事業期間全体を通じた直接経費の実支出額となっているか。
□平成25年度以前に使用した分については利息を含め、平成26年度以降に使用した分については利息を含めない金額となっているか。

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出 願〕 計 (1) 件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
〇〇の〇〇技術	〇〇 〇〇	〇〇大学	特許、特願2016-217666	2016年6月1日	国内

〔取 得〕 計 (1) 件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
〇〇技術	〇〇 〇〇	〇〇大学	特許、特許第3784444号	2016年9月1日	国内
				出願年月日	
				2015年9月1日	

13. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計 (1) 件 (最終年度分)

国際研究集会名	開催年月日	開催場所
〇〇〇〇	2016年7月10日 ~2016年7月13日	〇〇国際会館 (東京都千代田区)

14. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究：国際共同研究である

都府名、都道府県、会場名等、できるだけ具体的に記載しているか。
 海外の場合には国名も記載されているか。

共同研究相手国	相手方研究機関			
アメリカ	〇〇大学	〇〇大学	〇〇研究所	他2機関
ドイツ	〇〇大学	〇〇大学	〇〇研究所	他2機関
フランス	〇〇大学	〇〇大学	-	
ロシア	〇〇大学	-		
中国	〇〇大学	-		
他2か国				

相手方研究機関が3機関を超えない場合は、「他〇機関」とまとめずに、それぞれの研究機関名が記載されているか

共同研究相手国が5か国を超えない場合は、「他〇か国」とまとめずに、それぞれの国名が記載されているか

15. 備考

〇〇〇〇研究室ホームページ

<http://monnbudaigaku.com/tokyo/kakenhi/seika>